



町報 岡垣

所役者 場 守 荘
行町任 辻
発垣 實
岡垣町長

社会福祉協議会

社協を必要とする背景

一、しあわせの努力

私たちはみんな、幸せになりたい。立派な家に住みたい、子どもを良い学校に入りたいと、毎日努力している。が病氣、失業、貧困交通事故による家庭崩壊、公害と沢山困った問題をかかえている。こんなことが起ったら、多くの場合、本人や家族、親類の援助や努力で解決しようとする。

しかし「個人の努力」や「家族の努力」ではどうにもならない場合があるので、国や地方自治体を活用する。

二、行政の働き

国や地方自治体も最近では、住民福祉に力を入れ、充実に努力している。が行政の性格として

① 公平性(必要最小限の原則)

お役所の仕事は税金でされているので、特定地域や小人数だけが受けるようなサービスはさげがちである。

例……ゴミの回収を週一回している所で、ある所だけ週二回はしない。

② 確実性(予定性の原則)

みとおしのハッキリした仕事で

ないと、税金の無駄使いになるのではない。

例……保育所は必要だが、何人も所希望があるかわからないと建てない。

③ 専門性(法律中心の縦割り)

だんだん仕事が多くなると、仕事が多分して専門的になり、一つは詳しくなるが、横のつながりが薄くなる。

例……寝たきりの障害児の場合、教育、治療、訓練、扶養手当等バラバラだが、制度を一木化してもらいたいと望んでいる。

それでも行政で解決出来るものは、行政で解決してもらいたい。

X X X

こういうふうに、生活問題の解決には、個人の努力を行政的努力で守るけれども、それでも力の及ばない点がある。それは民間側(住民)がお互いに話し合い、手をとり合って守る必要がある。

三、住民組織の現状

区、婦人会、青年団、子供会、商工会、PTA、老人クラブ等の組織があり、みんなは自動的に、任意的に加入している。

こんな沢山の集団や組織は、そ

のままでも役に立っている。老人クラブはお互い交り合い、励まし合い楽しみ合っている。が婦人会と共同したら、一層力も大きくなり、効果も上る。

下水溝、道路、防犯灯、ゴミ等の問題は、個々バラバラでは力が弱い。住民がみんな話し合う必要がある。

社会福祉協議会とは

地域での生活問題を明らかにし話し合いを承ね、住民自らが組織的、世間的にとり組み、専門家などの協力を得て、問題解決に向かう。

そういう場(拠点)となり、解決へすすむよう世話をするのが社会福祉協議会である。

だから、社協は、地域住民の意見を反映する各団体の代表や、社会資源としての専門家などの構成で、生活者の立場から、問題を解決していくよう協議、実践していく、民間(住民)の自主的な組織である。

X X X

住民の幸せをもたらすために、民間の助け合いでやっていくのが社協であり、行政は税金で賄うが、社協は共同募金や、香典返しや社会奉仕でやっていく。

民生課

とどいたら、まず、とじましよう

○

差別を

なくするため

昭和四十四年七月に「同和対策事業特別措置法」が制定されました。この法律において、同和問題の解決は、国および地方公共団体の責務であり、全国民の課題であることが明らかにされています。

民主社会といわれながら、まだおおくの差別や偏見が残されています。そして、差別や偏見の集約されたものが同和問題です。

この問題を解決するためには、町民全部が関心をもち、正しく理解されなければなりません。

1、同和問題は国民的課題
わたしたちが住んでいる社会には、今なお、差別がさまざまな形で存在しています。

これを解決するために、昭和四十年八月同和对策審議会から内閣総理大臣に答申がなされました。

「この問題を未解決に放置することは斯くて許されぬことであり、その早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である。」と。これをうけて、国や県市町村はこの解決のために、

- ・ 隣保事業の充実……など
- ・ 社会福祉施設
- ・ 児童福祉施設・消防施設の整備
- ・ 巡回診療……など
- ・ 産業・職業に関すること

- ・ 農林漁業の生産基盤整備
- ・ 中小企業の振興
- ・ 就職の促進……など
- ・ 教育に関すること
- ・ 教育条件の整備
- ・ 同和教育の普及徹底
- ・ 集会所の整備……など
- ・ 人権に関すること

この問題の解決は、国や地方公共団体の責務であると共に町民ひとりひとりが努力することが大切です。今こそ真剣に考え、解決しなければならぬときです。

三歳児のおとうさん！ おかあさん！

みんなで子どものしあわせを考えましょう

— 第二年度の家庭教育（幼児期）相談を始めます —

みなさん方のお子さん！

明るく元気にお育ちでしょうか
子どもの成長は、ほんとうにたのしみなものです。

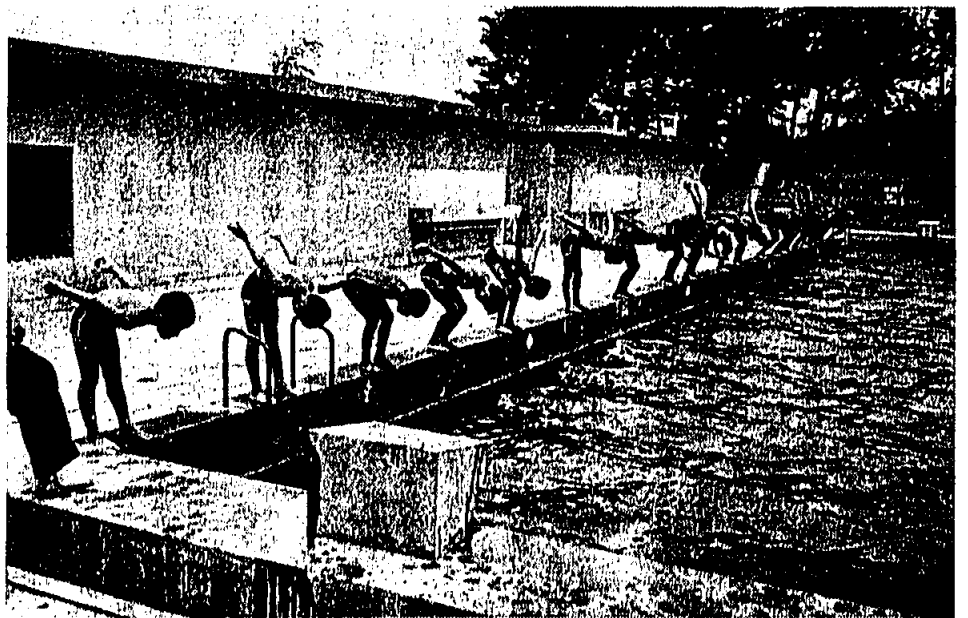
でも、病気をしたり、おいたをしたり、反抗したり、いつも、ハラハラ、イライラ、しなくてはいけませんね。
こんな心配や不安は、育児書だけでは解決できず、どこに相談したらよいか、お困りの方はいらっしやいませんか。

県教育委員会では、昨年についてことしも、若いご両親の育児のお尋ねに、はがき通信やテレビ放送でお答えしたり、巡回相談で直接に感じながら少しでも皆さんのお役にたきたいと願っています

相談は次の三つの方法です
ます。

- ・ ハガキ通信
六月から来年一月までの間に八回封書やはがきをお手もとにと

- ・ 巡回相談
もっとくわしく相談したい方のために巡回相談を行います。
七月〜九月の間に県十五会場です
専門の先生方が出向いて幼児教育についてお話ししたり個別に面談して相談に応じます。
- ・ テレビ放送
通信や巡回相談でできた皆さんの保育上の不安、なやみや親をはじめおとなが幼児を導くうえにたいせつな問題について、テレビ放送でもお答えし皆さんと
いっしょに考えます。



九月から来年三月まで民間放送で毎週土曜日正午から放送します。

この相談で通信をお送りする方は

福岡県教育委員会

一人暮らし ねたきり老人 身障等

実態調査

「調査なくして活動なし」といいます。社会事業の充実を図るため、岡垣町社会福祉協議会では、民生委員の協議を得て、七月から

「一人暮らし老人」「ねたきり老人」「老人夫婦世帯」や、心身障害者、母子家庭の一言調査をやりま

す。調査員がお伺いしましたら、御多忙中とは存じますが、趣旨を御理解下さって、この調査に御協力くださいますようお願いいたします。なお、この調査は他の目的には使用しませんので申し添えます。

本年十月一日から、重度心身障害者医療支給制度が発足しますがこれは申請がないと受けられないし、その受給対象者中、精神薄弱者は、児童相談所か更生相談所の判定を受けねばなりません。その受給対象者を掴むためにもこの調査は必要です。該当世帯は

昭和四十六年四月一日と昭和四十七年三月三十一日の間に生まれなお子さんを長子にもつ県内すべての両親ですが、面接やテレビ放送の場合は他の方がたの相談も受けれます。

町営住宅の空家補充

入居希望者の受付

現在岡垣町には一九〇戸の町営住宅があり、一年間に約二〇戸程度の空家が発生しています。

最近多く空家が発生していますので、空家補充入居を希望される方は役場土木課まで申し込んでください。申し込みの受付は随時行なっています。

抽選会は空家の発生に応じ随時行ない、当選されない方の申し込み書類はその年度内(三月末日まで)においては有効書類として取扱います。尚、詳細については住宅係へ問

い合せください。

(土木課)

昭和49年度

第2回 保母試験

- 一、願書提出月日 8月3日まで
 - 二、願書提出先 県庁婦人児童課
 - 三、試験月日 8月20日より
- 詳細は役場民生課まで問合せください。

あなたは空巢に狙われている

「平和でたのしい生活を」との共通の願いをふみにじる「ドロボー」が最近非常に増加しています。特に空巢狙いの増加が目立っています。当折尾警察管内では新興住宅地の建設などで人口も急激に多くなっているものの、昨年同様に比較してみますと、空巢狙いにおいて、昭和四十八年五月末現在、一五二件の発生に対し、本年は既に、二〇四件もの発生をみています。このま、推移しますと本年度は相当の被害者が出るのではないかと心配しています。

ちなみに、現在発生している特徴的内容を申し上げますと、現金のみを狙ったものが全体の八〇%、昼間に侵入したものの全体の八三%となつています。折尾警察署で検挙しました空巢狙いの犯人の一人は、次のように述べています。

「隣近所は勿論、妻にも「ドロボー」をしている事を知られないよう、仕事に行くふりをして午前八時頃家を出て夕方には帰る。犯行区域は自宅から歩いて行ける範囲内で、しかも逃げるのに便利な家庭や戸締りの悪いところを狙う。土曜、日曜、祭日は、子供や勤め人が居るのできける。また雨の日や午後は家人や学校から帰った子供がいるので「ドロボー」には、はいらな

町営住宅の新築計画について

民生課

住宅不足解消のために昭和四十七年度から進めています町営住宅建設事業、龍王岡地の昭和四十八年度(昭和四十九年度へ繰越事業)・昭和四十九年度建設戸数が左記のとおり決定しました。

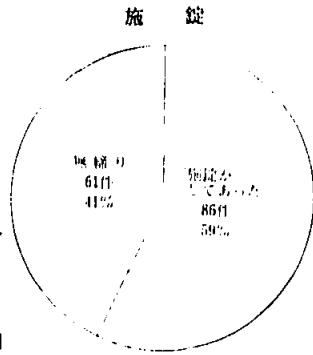
- 一、昭和四十八年度(四十九年度へ繰越事業)建設戸数 第一種住宅 二二戸
- 第二種住宅 四戸
- 建築完成予定 昭和四十九年九月末日
- 一、昭和四十九年度建設戸数 第一種住宅 六戸
- 第二種住宅 八戸
- 建築完成予定 昭和五十年三月末日

い。
。どんなに現金がありそうな家でも犬がいる家には絶対にかけた。
折尾警察署では、このように多発している「ドロボー」検挙に努力していますが、依然として続発の傾向にあります。したがいまし

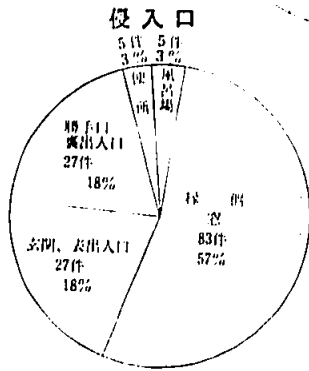
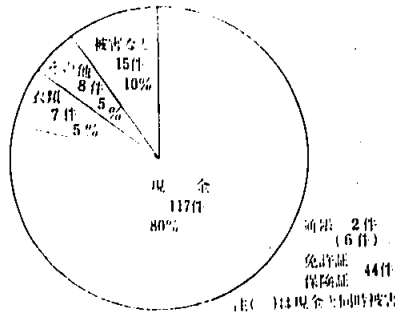
あきすの被害品侵入口等の状況調べ

発生時間帯調べ

朝	6～9	1.8%	} 83.4%
	9～12	15.6%	
昼	12～15	40.0%	
	15～18	27.8%	
夜	18～21	8.2%	
不詳、その他		6.6%	



被害品



て去る六月十四日開催しました折尾警察地区防犯協会の総会の席上各地区の住民の皆様と懇談会を開くことを決定しましたので、その節は多数の方がお集りになるよう願っています。

折尾警察署

家庭教育学級

開設さる

過日、六月二十八日午前九時三十分より、やまだ家庭教育学級が開設され、定刻には六十名の参加者があり、講師には九座大助教授猪山勝利先生を迎え「家庭教育学級とは」から始まり、学級の運営



及び、年間学習プログラム等を検討された。

この学級のテーマは「たくましい子どもを育てる親の姿勢」

老人クラブ寿会へ

香典返しとして寄付

- 一、東海老津区故堀之内忠二殿 83才 昭和49年6月6日死亡
- 堀之内ユリ子殿より
- 一、原区故佐々木恵社殿 84才 昭和49年6月7日死亡
- 佐々木幸盛殿より
- 一、新海老津区故木原栄一殿 70才 昭和49年5月26日死亡
- 木原秀樹殿より

老人クラブ寿会へ

快気祝として寄付

- 一、吉木区原初太郎殿 88才 原勝文殿より

社会福祉協議会へ

香典返しとして寄付

- 一、東海老津区故堀之内忠二殿 83才 昭和49年6月6日死亡
- 堀之内ユリ子殿より
- 一、原区故佐々木恵社殿 84才 昭和49年6月7日死亡
- 佐々木幸盛殿より
- 一、野間区故吉田英二殿 20才 昭和49年6月9日死亡
- 吉田武富殿より

親が作る非行少年の話

(その一)

社会を明るくする月間

二郎(中学二年)は上級生の田中から登山ナイフをもらった。時は敗戦後の中秋の夜のことである。二、三人のわんぱく仲間と鉄工場にぬすみに入り、見はり番になった二郎は監視員に捕えられ警察に補導されることになった。ナイフには田中の名が記されていたので田中がぬすみを指導し護身用にナイフを与えたのではないかと質問がなされた。しかし、田中はぬすみには無関係であったので「違います」とはっきり答えた。けれども平生が近所の悪大将であ

無料法律行政相談

開設のお知らせ

岡垣町社会福祉協議会で無料法律(行政)相談を、社会福祉の一環として次の通り開設いたしますのでお知らせします。活用下さい。

一、日時 七月二十六日 金曜日
一三時三十分より

一、場所 岡垣中央公民館

一、相談員 近江福雄 弁護士

尚毎月第二、第四金曜日の午後一時三十分より三時三十分迄岡垣

た。それから月日がたち、犯罪者として検挙された。警察へ呼び出され、両親ともしばらく離れねばならぬ前夜のことである。父はその非行をせめ、「お前のような悪坊を生んだ覚えはない、不孝者め、」とどなった。

その時である。ふところにかくし持っていた小刀を、ズブリと抜いた。母は、父親に切りつけるかと驚いた。田中は畳に小刀を突き立て、いった。僕をこんなにしたのはお母さんだ。親以外に信頼する者はないと思っていたお母さんまでが警察の言うことを借じて、僕を借じてくれなかった。あれ以来、僕は本当に悪ものになってやろう!ときめた。と泣き出した。

どんな悪党でも、不良でも最終的に頼る者は親であり兄弟である。骨肉のきずなは魂のきずなであり、心の安全地帯である。犯罪者の行方が不明の時は、親兄弟友人の所に待ちぶせしていれば、大抵現われるといわれている。人間が最後に帰る所の安住地は両親である。特に男は母親を、娘は父親を慕う傾向を持っている。世間が冷たくても家庭が暖かければ、子供は救われる。社会を明るくする運動月間が毎年行われ、町民の協力で進めているわけです。社会の基礎は家庭集団です。家庭から近隣、町村へと広がって行くわけです。個人と社会とは相互に関連

がありますが、人間としての関係は親と子の家族関係が最初に結ばれるわけです。親が作る非行の原因の中で、不平不満が心の内にある、これが外に現れると非行の形をとることになります。だから環境が悪くとも、これに負けない魂を作ることが幼少の頃からぞだてることが大切です。非行者を細かに観察すると、案外、良心的な気の小さい人が意志の弱さから、自分を自分でどうすることもできないでやけを起す結果になっているのが多い。

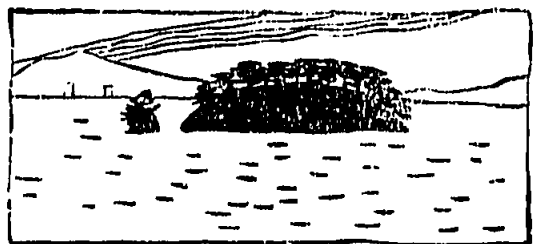
公民館

社会教育

委員決まる

岡垣町社会教育委員の任期満了に伴ない次の方々を新委員として教育委員会より選任されました。

- | | | | | | |
|-------|----|-----|-----|-----|----|
| 内浦 | 長畑 | 菊丸 | 西黒山 | 高野 | 文子 |
| 海老津 | 太田 | 守 | 上高倉 | 小早川 | 巖 |
| 吉木 | 伊藤 | 良成 | 南山田 | 石井 | 邦一 |
| 戸切百合野 | 大野 | 繁 | 三吉 | 加藤 | 重雄 |
| 吉木 | 田口 | 岩助 | 東松原 | 田中 | 健一 |
| 上畑 | 安部 | 欽一郎 | 元松原 | 広渡 | 秀雄 |
| 吉木 | 三浦 | 千歳 | 榎原 | 河野 | 正博 |
| 東松原 | 平井 | 政秀 | | | |
| 上海老津 | 正田 | 栄宏 | | | |
- 教育委員会 (願不同)

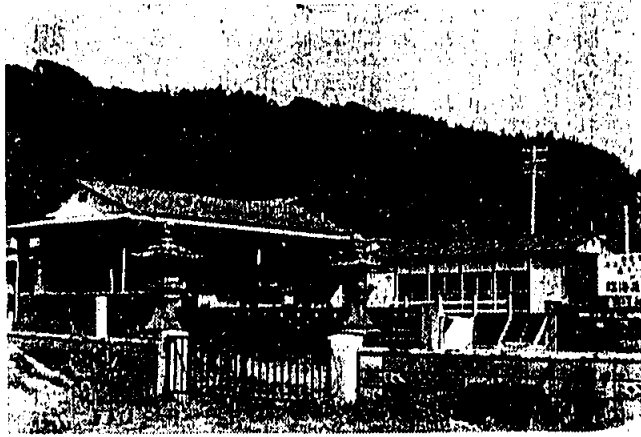


運転者と健康

- 一、海老津区故水口ツル枝殿56才
昭和49年6月17日死亡
水口喜殿殿より
- 一、新海老津区故木原栄一殿70才
昭和49年5月25日死亡
木原秀樹殿より
- 一、上高倉区故安部俊広殿 59才
昭和49年6月15日死亡
安部光正殿より

臨海荘を増築

青い海、潮の香のする波津海岸の臨海荘が増築されました。もと母子会の方達で運営され長年築き



臨海荘従業員一同

上げられた人気で繁盛し、町内は元より他町北九州方面からのお客が多く今でも予約者で何時もうれ

しい悲鳴をあげております。丁度夏の最もお客の多い時期に増築された事は有難く、これも一重に町奉仕者母子会の御理解と協力があってこそと思ひ後を引き受けました私達は感謝すると共に、今後この臨海荘を立派に守り繁盛させる事を願ひ努力して行きたいと思っております。地元皆さんの御支援御協力をお願い致します。

ている人たちがふえてきている。

二、食事時刻の乱れ
一日三食という習慣は文明生活の中で、最も便利よく都合がよいということから、永い歴史の中で定着したものとされる。しかし職業上、これを常に乱されつづけ

多くの職業運転手は朝食時間に営業しているドライブインが少ないせいもあって、ほとんど定時に食事ができず、年中食事時刻が乱れている。食事をしたいと思うとまずでに消化器は受入れ準備を進めているが、せっかくな迎えようとしているのに空腹を満たしてやらないと準備を止めてしまう。やがて適当な店が見つかって食事をしようとしても、食欲はもはや出て来ないし、むりに食べても精神的なものも手伝って胃の調子が変になる。年中これを繰り返している。本当に胃が悪くなり、食事抜きや食欲不振から栄養不良におちいり遂には身体の変調を起し疲労感が重なり心の平穏が失われる。こうなるとますます、胃や心臓の調子がおかしいと不安になり、イライラした性質になってしまふ。(動脈硬化や高血圧になることもある)

運転手で胃薬を常時持参している人が多いが、基本的な対策をとらぬと大変なことになる。朝めしめきは精神的不安定を招くだけでなく、一日二食では必要な栄養とカロリーを摂取ににくいので、二食にしたい人はこの点注意して豊かな内容にする必要がある。

また、運転者はどういうわけかドライブインでの食事のとり方がきわめてあわただしい。ゆっくり食べることに共に食後の休みは大切である。まだのどを通っている状態でハンドルを握ると、運転するほうに神経が集中して消化は働



孝心者

忠五

高倉

忠五は、高倉村の人なり。父母に孝養厚く、生得淳朴なる者なり。父惣四郎常に酒を好める故、たえず買求めてすゝめたり。惣四郎自ら、おきかりたるをも忠五ひそかに償いたりとぞ。

父文化七年のころより中風病で家内の歩行も憚ならず深く悩めるを介抱怠なくして食物などの望あれば何にても買求めて進めり。

父病からうじ老いて筋なきを言いて怒れる時あれども、とかくして父の意にさからわず却って機嫌を直さしむるを、あまたたびの事なりしとぞ。

父は四十二年身まかりたるに、追孝益々厚し、而して後は母への孝養、父に愛らずいとねんごろにせしとなむ。その外、人の交わりものことから、多人家から聊睦ま

きを止めてしまふ。

以下次号
交通栄養学研究室編より
公民館

次回は、「コーヒー・酒・かぜくすり」の予定

筑紫遺愛集
巻十二より

しからざるとなし。

かく孝心厚き趣いとなく世に知れわたり、公にも聞し召され、文化十三年子閏八月米若手を給いぬ。

(原文のまま)

文化十三年は、一五六年前です高倉村は現在の岡垣町高倉区のことです。

町民の動き(六分)

- 人 口 二〇二九〇人
- 前月との比 増 五五人
- 世 帯 五三六一世帯
- 前月との比 増 一八世帯